

総務文教常任委員会会議録

- 1 日 時 平成27年3月16日(月)
14時13分開会 14時38分閉会
- 2 場 所 第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：高橋政悦 副委員長：鈴木孝寿
委 員：北村光明、木村好孝、口田邦男、中島里司
- 4 事務局 事務局長：佐藤秀美
- 5 説明員
- 6 議 件
(1) 所管事務調査の申し出について

(2) その他
- 7 会議内容 別紙のとおり

総務文教常任委員会【開会 14 : 13 閉会 14 : 38】

委員長：(高橋政悦)：只今から総務文教常任委員会を開催します。早速議件に入らせていただきます。前回、皆さんに宿題をだしました所管事務調査の申し出について、それぞれの委員の意見を伺います。

(挙手なし)

委員長：積極的な意見がないようなので、こちらから指名させていただきます。順番に北村委員からお願いします。

北村委員：災害時における危機管理というか、そういったところの清水町の現状はどうか。ハザードマップなどの整備や、どのように町民に周知しているのか。あと、教育委員会制度の委員長と教育長との関係が変わるなど、制度が変わることによってどういうことが考えられるのかの調査をしておいた方がいいのではないですか。

口田委員：いくら考えても思い浮かびません。

中島委員：特に思いつかない。

木村委員：前回のときに問題になっていた給食センターもいいと思いましたが、中島議員の質問を聞いて、意見を聞いて、タイミングもあるので、前回の委員会が去年視察していますので、嫌みになっても困るということで考えていました。もう一つは、詳しく見ていないので分からないが、防災マップが今年予算化されている。防災マップは、あれだけ膨大な部分を理解してというのは無理なので、特に地域的な要点だけでも説明を受けてみたいという思いはあります。国がある程度のサンプルを決めてしまって、震災のときに問題になりました。地域の具体的な特殊条件というのが明らかではないし、住民に徹底していないということで問題になっていました。その辺も、個人的に聞いてみたいと思います。

鈴木副委員長：給食センターの関係を調査した方がいいという話をしようと思っていたのですが、前年度やっているというのであれば、やりづらい部分もありますけれども、現実それが終わってからも色々なことがあるのであれば、抜き打ちというか、食材の問題もでているので、搬入経路も含めて調査する必要があるのかなと思います。もう一つは、常々思っていたことですが、今日の私の質問の中にもありましたが、元気の足りない町になってきている部分と、そこを危惧しているところで、例えば、係長以下の若手の職員を呼んで、若手の職員が考えていることを吸い上げるというのも、委員会にとっては面白いのではないかと思います、そういう部分を提案したいと思います。

委員長：大まかに、木村委員と北村委員の災害時における危機管理、防災マップの関係と、教育委員会制度の今後どうなるのか、給食センターの事故に絡む抜き打ち調査で、食材の搬入経路などの前回やっていないところを調査するのか、若手職員の意見、これはまちづくりに関することになると思うのですが、その辺を取るという意見が出ました。

【休憩 14 : 19】 ※日程等の確認をする。

【再開 14 : 19】

委員長：まず、今回終わって6月までの間、何日間で何項目調査をするかを決めたいと思います。

口田委員：全部調査するかどうかを検討して、それから何日にするか決めるのでは。

委員長：口田委員から、今出ている4項目を絞るか、すべて調査するかという意見ですが、皆さんの意見を求めます。

口田委員：給食センターの調査の時期は、もう少し遅らせた方がいいのではないかという気がするのですが、どうですか。

北村委員：去年やったということなので、危機管理マニュアルを作成して、それに準じてやっているということですが、今回、5件ほど事故があったという、そのマニュアルをどう扱ってきたのか、コンプライアンスの問題です。そこら辺を現場の中でしっかり認知されているのか、ただ作って置いてあるだけという気もするのですが、それを管理する人は誰だったのか。場合によっては、直接、給食センターに入るのはためらいがあるとしたら、時期をずらしてもいいのかなと思います。

委員長：その他の意見を伺います。

木村委員：今回、もう少し期間を持って、今回の原因究明も今行われていますので、その点がはっきりしてからでもいいのかなと、中島議員とのやり取りを聞いていて思いました。今挙がった中で、一つ二つに絞った方がいいのかなと思います。今後の調査もあるので。緊急性の部分からいうと、予算化されている防災マップで、町民に配る部分も出来上がってくるので、又は4月から変わるので教育委員会制度ということで、この辺で選んではどうか。

中島委員：防災マップについては、タイミング的に問題なければやってみてもいいのかなと思います。給食センターも含めて教育委員会の関係ですが、制度は4月1日ですが、教育長の任期までは今のままです。事前に調査するか、6月までにやってもこれからという話になってしまうので、もしやるのであれば6月から9月の間かなと思います。ただ、9月の定例会で現職のままか新しい教育長になるかというのは分かりませんが、変わるのはその後なのかなと思います。給食センターについては、私も質問しましたが、ゼロに向けてということを理解したわけですから、それが今回やって、4月以降人事異動が伴ってくる可能性があります。それで4月から6月というのはきついかかなと思うので、さっき言った災害と、今までこういう例がなくて受けてもらえるか分かりませんが、対応は全て管理職というのが基本ですので、係長以下との考え方を聞くというのも悪いことではないと思います。ただ、色々な問題が解決できればそれは可能だと思います。係長以下との話し合いが4月から6月の間。それと、もう一つ、色々な項目を出しても任期2年ありますので、その都度、所管事務調査、定例会から定例会の間にありますから、それはそれぞれが考えていく。そのうち1回だけは管外、他町村などの他の施設のところに行くのが流れですから、それも含めて、ある程度判断していかなければなりません。一遍にまとめて全部やってしまうと、そういう部分もあるかと思うので、それぞれの委員として、自分が1年間計画的に所管事務調査できるような考え方をしていかなければならないのではないかな。今の話題としては、災害と係長以下の関係に絞って、これであれば1日で可能なのかなと思います。係長となったらちょっと1日では難しいですが、ただ、受けていただけるかどうかという問題はありますが、今の段階で残るのはこの二つかなと思います。

委員長：今までの意見を集約すると、給食センターも含めた教育委員会関係は先送りということで、問題ないのが災害時における危機管理防災マップの関係と若手職員の意見集約につきましても、事務局にあたっていただいて、もし執行側でできないとなれば、その理由を委員会に報告していただくこととして、基本的には若手職員の意見集約は行いたいという方向で構いませんか。

事務局長：やり方なんですけど、総務の所管で総務課の仕事、企画課の仕事、税務課の仕事など限

られたことなのか、それともまちづくりという部分で若手職員との意見交換がしたいということなのか。職員の範囲、どういった形態で調査するのか。項目としてはまちづくり等の項目を出してやると思いますが、その辺の職員の選び方とか、項目をどのように考えているのか確認願います。

鈴木副委員長：もし聞くのであれば、係長以下の全職員にお話を聞きたいという気持ちが強くありますが、あまり大きくしてしまうと、この委員会から逸脱してしまうという考え方もありますので、まちづくりに特化して考えていくということを前提として、更には、我々が日中に会議を開催したら、その部分を皆休んで出てこないといけないので、現場になくなるということになりますので、例えば、夜は可能なのかということと、夜になると時間外が発生するのか。これは座談会的な方向性は可能なのか、こういう機会が今までなかったの、あえて振ってみて、それに対して若い人たちがどういう反応してくるのかということも見てみたい、労働組合的には不快感を示すかもしれないですが、初めての流れで、もしこういうのがおかしいというのを含めて、まずはやってみるというという方向で、何の報告にもならなければならないで、そこはいいかと思えます。まずはやる気の問題が必要なのかなと思えます。そのような感覚で提案をさせていただきました。

委員長：事務局長、そういう流れで、一応投げかけていただけますか。

北村委員：いきなり係長以下のもってき方がいいのかどうなのかという思いがあります。課長職クラス、中間職の人たちは上と下の間に挟まれて、色々な苦労があると思えます。本音を言ってくれるかは別として、むしろそっちの方に投げかけてみて、その中でもっと若い人たちの意見も聞きたいけれども、そういうことをやっていいかどうかというところの感触を掴んでからの方がいいのかなという気もしました。今回、また課を分けました。昔は分かれた課を一つにまとめて、また分かれたということで、これはなぜなのかと疑問を持っています。課長クラス自身がやる気をなくしている状況があるのだらうと思えます。

口田委員：いずれにしても相手のあることなので、相手がどういうふうに対応できるか。

【休憩 14：33】※調査項目・職員を絞る必要があり、地方創生関係の人口減少対策での申し出とする。

【再開 14：36】

委員長：申し入れは2項目とします。災害時における危機管理防災マップ等の説明を受けること、若手職員の意見集約の2点を申し入れします。若手職員のターゲットですが、今回出てきた清水町人口減少対策本部専門部会がありますが、そこから若手をピックアップするか、若しくは執行側に申し入れて、所管の課の係長以下の人たちを数名ピックアップするというのはあまりよくないですが、どんな対応ができるか18日までに調査願えますか。

事務局長：はい。

委員長：では、3月定例会が終わってからの6月までの間に所管事務調査を行う項目については、その2点ということで、調査事項名については、執行側等と調整して申し入れしたいと思えます。調査時期等は後日ご連絡申し上げます。

(1)については終了します。

委員長：(2) その他ですけれども、委員の皆さんから申し入れありませんか。

(なしとの声あり)

委員長：ないようですので、本日の総務文教常任委員会を終了します。

所管事務調査事項：①防災対策の現状と今後の展開について

②人口減少対策の新たな発想について

③その他所管に関する事項について